

CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC) CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX) e2 studio Code Generatorプラグイン RL78コード生成支援ツール Applilet3 ご使用上のお願い

CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC)、CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX)、 e2 studio (Code Generatorプラグイン) および RL78コード生成支援ツール Applilet3 の使用上の注意事項を連絡します。

1. シリアルアレイユニット4(UART4 または DALI4)のエラー割り込み使用時の 注意事項

対象: RL78/I1Aグループ

2. シリアルアレイユニット4(DALI4)の注意事項

対象: RL78/I1Aグループ

1. シリアルアレイユニット4(UART4 または DALI4)のエラー割り込み使用時の 注意事項

1.1 該当製品

- CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC) V2.03.00以降
- CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX) V2.03.00以降
- e2 studio V2.1.0.21以降 (Code Generator プラグイン V1.0.0以降)
- RL78コード生成支援ツール Applilet3 V1.07.00以降

1.2 該当マイコン

- RL78/I1Aグループ

1.3 内容

シリアルアレイユニット4を、UART4 または DALI4 (digital addressable lighting interface) で使用し、エラー割り込みを設定した場合の生成コー

ドに誤りがあるため、エラーを検出することができません。

1.4 回避策

r_cg_serial_user.c にある関数を下記に従い修正してください。

なお、コード生成後は常に修正が必要です。

(1) UART4として使用する場合

シリアルステータスレジスタ41(SSR41)でフレーミングエラー、パリティエラー または オーバーランエラーのいずれかが発生したことを判定する条件式に修正してください。

修正前:

```
-----  
__interrupt static void r_uart4_interrupt_receive(void)  
{  
    uint8_t rx_data;  
    if (1U == SSR41)                                /* 修正前 */  
    {  
        r_uart4_interrupt_error();  
    }  
    .....  
}
```

修正後:

```
-----  
__interrupt static void r_uart4_interrupt_receive(void)  
{  
    uint8_t rx_data;  
    if ((SSR41 & 0x0007UL) !=0) /* エラー検出フラグ発生を */  
                                    /* 判定するように修正 */  
    {  
        r_uart4_interrupt_error();  
    }  
    .....  
}
```

(2) DALI4として使用する場合

シリアルステータスレジスタ41(SSR41)でマンチェスタフレーミングエラー、フレーミングエラー、パリティエラー または オーバーランエラーのいずれかが発生したことを判定する条件式に修正してください。

修正前:

```
-----
```

```

__interrupt static void r_dali4_interrupt_receive(void)
{
    uint8_t rx_data;
    if (1U == SSR41)                                /* 修正前 */
    {
        r_dali4_interrupt_error();
    }
    .....
}
-----

```

修正後:

```

__interrupt static void r_dali4_interrupt_receive(void)
{
    uint8_t rx_data;
    if ((SSR41 & 0x0087UL) !=0) /* エラー検出フラグ発生を */
                                /* 判定するように修正 */
    {
        r_dali4_interrupt_error();
    }
    .....
}
-----

```

1.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

2. シリアルレイユニット4(DALI4)の注意事項

2.1 該当製品

- CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC) V2.03.00以降
- CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX) V2.03.00以降
- e2 studio V2.1.0.21以降 (Code Generator プラグイン V1.0.0以降)
- RL78コード生成支援ツール Applilet3 V1.07.00以降

2.2 該当マイコン

- RL78/I1Aグループ

2.3 内容

シリアルレイユニット4をDALI4で使用し、送信の転送データ長を16ビットまたは受信の転送データ長を16ビット、17ビット および 24ビットに設定した場合の生成コードに誤りがあるため、正しくデータ送受信を行うことができません。

2.4 回避策

r_cg_serial.c にある関数を下記に従い修正してください。

なお、コード生成後は常に修正が必要です。

(1) 転送ビット長16ビットのDALI送信の場合

下記の例に従い、演算子を "&" から "%" に修正してください。

修正前:

```
-----  
MD_STATUS R_DALI4_Send(uint8_t * const tx_buf, uint16_t tx_num)  
{  
    MD_STATUS status = MD_OK;  
    uint16_t tmp;  
    if ((tx_num < 1U) || ((tx_num & 2U) != 0U))        /* 修正前 */  
    {  
        status = MD_ARGERROR;  
    }  
    else  
    {  
        .....  
    }  
    .....  
}
```

修正後:

```
-----  
MD_STATUS R_DALI4_Send(uint8_t * const tx_buf, uint16_t tx_num)  
{  
    MD_STATUS status = MD_OK;  
    uint16_t tmp;  
    if ((tx_num < 1U) || ((tx_num % 2U) != 0U))        /* 修正後 */  
    {  
        status = MD_ARGERROR;  
    }  
    else  
    {  
        .....  
    }  
    .....  
}
```

(2) 転送ビット長が16ビット、17ビット および 24ビットのDALI受信の場合

下記の例に従い、演算子を "&" から "%" に修正してください。

- 転送ビット長17ビットのDALI受信の例

修正前:

```
-----  
MD_STATUS R_DALI4_Receive(uint8_t * const rx_buf, uint16_t rx_num)  
{  
    MD_STATUS status = MD_OK;  
    if ((rx_num < 1U) || ((rx_num & 3U) != 0U))        /* 修正前 */  
    {  
        status = MD_ARGERROR;  
    }  
    else  
    {  
        .....  
    }  
    .....  
}
```

修正後:

```
-----  
MD_STATUS R_DALI4_Receive(uint8_t * const rx_buf, uint16_t rx_num)  
{  
    MD_STATUS status = MD_OK;  
    if ((rx_num < 1U) || ((rx_num % 3U) != 0U))        /* 修正後 */  
    {  
        status = MD_ARGERROR;  
    }  
    else  
    {  
        .....  
    }  
    .....  
}
```

2.5 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.